

各位

上場会社名 **DIC株式会社**
 代表者 代表取締役社長執行役員 猪野 薫
 (コード番号 4631)
 問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 中川 真章
 (TEL 03-6733-3033)

2021年12月期通期の連結業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、2021年11月12日に公表した2021年12月期通期の連結業績予想を修正するとともに、2021年12月通期決算において繰延税金資産の取崩しを行うこととなりましたので、お知らせします。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

1. 通期の連結業績予想数値の修正(2021年1月1日~2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期 純利益
前回公表予想(A)	百万円 860,000	百万円 48,000	百万円 47,500	百万円 22,000	円 銭 232.42
今回修正予想(B)	850,000	43,000	43,000	4,000	42.26
増減額(B-A)	△10,000	△5,000	△4,500	△18,000	
増減率(%)	△1.2	△10.4	△9.5	△81.8	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	701,223	39,663	36,452	13,233	139.81

2. 修正の理由及び繰延税金資産の取崩しについて

- 売上高は、2021年7月から連結対象となったC&E顔料事業(旧ドイツBASF社のColors & Effects顔料事業)において、世界的なコンテナ不足による海運需給の逼迫と、統合後の物流体制の構築に時間を要したことによる出荷遅延を理由に、第4四半期の売上が想定を下回ったことから、前回予想を下回る見通しとなりました。
- 営業利益及び経常利益は、C&E顔料事業の売上高の減少に加え、同事業における物流問題に係る営業費用の一時的増加等により、前回予想を下回る見通しとなりました。

- 3) C&E 顔料事業の業績低迷に伴い、連結納税を行う米国での繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、同繰延税金資産 14,314 百万円を取崩し法人税等調整額に計上することとしました。
- 4) 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の減少に加え、法人税等調整額が大幅に増加したことにより、前回予想を大きく下回る見通しとなりました。

こうした状況を踏まえて、通期の連結業績予想を修正するものであります。なお、C&E 顔料事業以外の事業全般につきましては、国内及び海外の主要製品の出荷が総じて堅調な需要に支えられ、また原料コストの増加に対しても積極的な価格対応に取り組んだことから、概ね想定どおり推移しました。また、C&E 顔料事業の物流体制に起因した出荷遅延問題につきましては、既に対応を進めており、現在解消に向かっていきます。

3. 配当予想

本業績修正に伴う 2021 年 12 月期の配当予想に変更はありません。今期は、中間配当 50 円(実施済)、期末配当 50 円、年間 100 円の配当を実施する予定です。

以上